

ファイティング

ライディングリミテッド LIMITED 2014

¥0
FREE



MFJ全日本選手権

白熱する後半戦を見逃すな!



ライセンスをとって RACEに参加しよう!!

レース観戦も楽しいけど、ライセンスを取得してレースを体感しよう!!

全国各地で年間約500大会以上が開催。

楽しいイベントレースや初心者の方も楽しめる大会など盛り沢山!!

以前レースをやっていた方も、続々復活し、レースを楽しんでいます。

多くの仲間が皆様の参戦をお待ちしています。



ライセンスの取得条件や

申し込み方法はMFJオンラインマガジンに今すぐアクセス!

SEARCH

MFJオンラインマガジン

GO

<http://www.mfj.or.jp>



MFJオンラインマガジンは、ライセンスのご案内の他、レース観戦情報／レースレポート／競技会結果／レースアドバイザーショップ／レーシングクラブ紹介等盛り沢山のコンテンツで情報をご提供しています。

ご不明な点は下記にお問合せ下さい



一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)
〒104-0045 東京都中央区築地3丁目11番6号 築地スクエアビル10階

☎ 03-5565-0900



モトクロス 観戦情報

全日本モトクロス
オフィシャルファンサイト
<http://jmx.jp/>



ロードレース 観戦情報

MFJ SUPERBIKE
全日本ロードレースファンサイト
<http://www.superbike.jp/>



トライアル観戦情報

<http://www.mfj.or.jp>



スーパーモタード 観戦情報

SUPERMOTO JAPAN
<http://www.supermotojapan.com/>

エンデューロ 観戦情報

JEC PROMOTIONS
<http://jecpro.com/>

CONTENTS

- 6 全日本モトクロス選手権
- 10 全日本トライアル選手権
- 14 全日本ロードレース選手権
- 20 全日本スーパーモタード選手権
- 21 全日本エンデューロ選手権
- 23 全日本スノーモビル選手権
- 24 MFJアカデミー
レディースロードレース
- 28 全日本後半戦日程&会場ガイド

ご協賛各社

アキラプロダクツ株式会社
株式会社アライヘルメット
AOSテクノロジーズ株式会社
株式会社カワサキモータースジャパン
河和田屋印刷株式会社
住友ゴム工業株式会社
日本特殊陶業株式会社
ホンダ開発株式会社
株式会社ホンダモーターサイクルジャパン
ヤマハ発動機販売株式会社 (五十音順)

MFJライディング・リミテッド 2014

平成26年7月1日発行
発行所：一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会
〒104-0045 東京都中央区築地3-11-6 築地スクエアビル10F
Tel 03-5565-0900 Fax 03-5565-0908 <http://www.mfj.or.jp/>

レースはライブが一番!!
仲間を誘って会場に行こう!!

ON AIR BS12 TweiV
TVでもレースが観戦できます!
(全日本ロードレース、全日本モトクロス)
※毎週月曜日 20:00~

MOTO CROSS

モトクロス

モトクロスとは？

モトクロスは土や砂など、未舗装路に作られた周回路で行われるスプリントレース。コースにはアップダウンや、人工的に設置されたジャンプ台があり、そこをいかに攻略していくかが勝負どころ、見どころになっている。レース中は順位が何度も入れ替わるほどのバトルもあり、スタートからゴールまで息つく暇がないほど大興奮の渦に巻き込まれる。全日本選手権ではIAクラスが30分+1周×2ヒート、IBクラスが20分+1周、レディースは15分+1周でレースが行われる。



IA-1

国際A級 (4st 450cc/2st 250cc)

参戦!

国内最速男の 称号は誰に!?

Rider: 成田亮 選手

全日本モトクロス選手権の最高峰、IA-1。このクラスの覇者は「国内モトクロス最速ライダー」と言っても過言ではない。2014年は国内4メーカー8名のファクトリーライダーを中心に、開幕戦から白熱したバトルが展開されており、今シーズンも混戦となる予感。第4戦終了時点で、ランキングトップは2013チャンピオンの成田亮。僅差で小方誠が2位につけ、ホンダ勢が優位につけている。安定した走りですべて3位につく熱田孝高と、第4戦で小島庸平が待望の表彰台をゲットし、後半戦に勢いをつけたいスズキ勢。第3戦ヒート2で今季初優勝した新井宏彰とIA-1参戦2年目の三原拓也を擁するカワサキ。平田優、田中教世の両エースが序盤戦の負傷で出遅れているが、平田が第4戦で復帰し、早くも上位争いに絡んでいるヤマハの巻き返しなど、後半戦までもつれそうな展開が予想される。成田のV10達成か？ライバルが阻止するのか？注目だ!!

参戦!

参戦!

参戦!

Honda

2013年
チャンピオン!

成田 亮 (あきら) 選手

これまでに9度のチャンピオンを獲得している成田。今年もその強さをみせつける!

小方 誠 選手

昨年はあと一歩というところでチャンピオンを逃してしまった。今年こそは!?

YAMAHA

田中 教世 選手

35歳、ベテラン田中。第2戦関東大会でケガしたが、昨年もケガに泣かされ悔しい思いをしているだけに、後半戦の活躍に期待したい

平田 優 選手

ヤマハに移籍して2年目。エースライダーとして好調な走りを見せたが、開幕戦でヒート1まで2位となりながらヒート2でケガを負ってしまった



SUZUKI

小島 庸平 選手

昨年チャンピオン争いに絡みながらも最終戦でクラッシュという悔しい結果に。今年こそはタイトルを手中に収めるか!?

熱田 孝高 選手

ベテランらしい至妙なレースを展開する熱田。後半は地元・東北でのレースが続くので結果を残したいところ

Kawasaki

新井 宏彰 選手

昨年はケガでシーズン中盤を欠場したが、今年は第3戦ヒート2で待望の今季初優勝

三原 拓也 選手

IA-1に参戦し始めて2年目となる三原。今年はさらに上位を目指し、開幕戦から安定した走りを見せている

モトクロスの見どころは？

一番の醍醐味は30台のマシンが横一列で一斉にスタートするシーン。体やマシンがぶつかるほどの距離で第一コーナーへと進入していくそのさまは大迫力だ! また、ジャンプ台でスピードを落とさずに飛ぶために、空中でマシンを横に流すスクラブなど、ハデなアクションも見どころの一つ。



RANKING! ::::::::::::::::::::::::::::::::::

IA-1

第4戦までの暫定順位

1位	成田 亮	(Honda)	183.0
2位	小方 誠	(Honda)	160.0
3位	熱田 孝高	(SUZUKI)	141.0
4位	新井 宏彰	(Kawasaki)	121.0
5位	小島 庸平	(SUZUKI)	111.0

2013年
チャンピオン!



富田俊樹 選手

激戦を制し、昨年はIA-2チャンピオンを獲得。今年からTeam HRCに加入し、タイトル防衛を目指す



田中雅己 選手

Team HRCに抜擢され2年目。なかなか思うような結果を残せておらず、後半戦こそその速さを発揮したい

Honda

参戦!

参戦!

YAMAHA



渡辺祐介 選手

昨年はIAルーキーながら3度も優勝し、その活躍を買われ、2014年からヤマハのファクトリーチームに加入した

参戦!

SUZUKI



竹中純矢 選手

今年、Team SUZUKIに抜擢。昨年は最後の最後にリタイアでチャンピオンを逃してしまっただけに、雪辱を晴らしたい

参戦!

Kawasaki



井上眞一 選手

職人と呼ばれるほどマティレースが得意な34歳井上。昨年は表彰台に4度乗っており、今年も活躍を期待したい

参戦!

PRIVATEER



勝谷武史 選手

昨年はオーストラリア選手権に参戦。今年からIA-2に復帰し、開幕戦から圧倒的な速さをみせている

Rider: 勝谷武史 選手



IA-2

国際A級 (4st 250cc/2st 125cc)

勝谷武史が圧倒的な速さを見せる

IA-2は若手中心のクラスだが、大ベテラン・勝谷武史が3年ぶりに全日本へ復帰、このクラスに参戦している。その勝谷は開幕戦から第4戦まで8ヒート中5勝、表彰台を逃したのが2回だけと圧倒的な強さをみせつけている。しかし、タイトル防衛を宣言している富田俊樹がランキング2位、今年からTeam SUZUKIに加入した竹中純矢も3位につけ、逆転Vを虎視眈々と狙っている。ベテラン井上眞一や安定した走りを見せる能塚智寛、第4戦ヒート1で今季初優勝した安原志・渡辺祐介からランキング上位に食い込む実力者も多い。後半戦も激戦の続くIA-2から目が離せない!

RANKING!

IA-2

第4戦までの暫定順位

1位	勝谷 武史	(Kawasaki)	177.0
2位	富田 俊樹	(Honda)	151.0
3位	竹中 純矢	(SUZUKI)	136.0
4位	能塚 智寛	(Kawasaki)	120.0
5位	安原 志	(YAMAHA)	113.0

IB-OPEN/2 次世代のエースライダーたちが大激闘!!

IB (国際B級) クラスは、IB-OPEN (4st250cc~450cc/2st125cc~250cc) とIB-2 (4st250cc/2st125cc) の2クラスが開催され、多くの選手が両レースにエントリーし、ダブルタイトルの獲得を狙っている。IB-OPENでは昨年の全国大会NA-OPENとNA2の両レースを制し、今年昇格したIBルーキーの古賀太基が、開幕3連勝で独走態勢。IB-2クラスは、4戦中3戦優勝の馬場亮太がランキングトップに立つものの、2位小林秀真、3位内田篤基、4位高原秋斗、5位古賀太基まではほとんど差が無い拮抗状態。しかし、IB-2とIB-OPENは、それぞれ9戦中6戦の有効ポイント制が適用されるため、後半戦も、まだまだ他の選手にもチャンスはある!

RANKING!

IB-OPEN

第4戦までの暫定順位

1位	古賀 太基	(Honda)	75.0
2位	菅谷 峻介	(Kawasaki)	60.0
3位	小林 秀真	(Kawasaki)	59.0
4位	馬場 亮太	(Honda)	56.0
5位	大倉 由揮	(YAMAHA)	53.0

IB-2

第4戦までの暫定順位

1位	馬場 亮太	(Honda)	75.0
2位	小林 秀真	(Kawasaki)	63.0
3位	内田 篤基	(SUZUKI)	62.0
4位	高原 秋斗	(SUZUKI)	62.0
5位	古賀 太基	(Honda)	60.0

IB-OPEN
Rider:
古賀太基 選手



IB-2
Rider: 馬場亮太 選手

LADIES

中心は邵×竹内×安原×畑尾!

"四つ巴"のバトルに注目

全日本選手権のなかで唯一、モトクロスだけがレディースクラスを設定しているが、このクラスもIAクラスに負けず劣らず、多くのファンが応援につめかけるほど人気。今年、好調な勢いを見せるのは昨年ランキング2位の竹内優菜。また、アグレッシブな走りを見せる安原さや、畑尾樹里も忘れてはならない。V3を目指す邵はやや出遅れているが、昨年は最終戦で逆転チャンピオンを獲得しているだけに、勝負の行方は後半戦からだろう。いずれにしてもこの4人を中心にレースが展開されていくはず。"モトクロスQueen"の名は果たして誰の手に!?

RANKING!

Ladies

第3戦までの暫定順位

1位	竹内 優菜	(Honda)	72.0
2位	安原 さや	(YAMAHA)	62.0
3位	高橋 絵莉子	(Honda)	50.0
4位	邵 洋子	(SUZUKI)	47.0
5位	伊集院 忍	(YAMAHA)	41.0



邵 洋子 選手

2013年最終戦で逆転し、2年連続のチャンピオンを獲得した邵。今年もその速さをいかんなく発揮しているが第3戦終了時点でランキング4位。後半戦の戦いに期待したい



竹内優菜 選手

すでに今季2勝しており、第3戦終了時点でランキングトップを走る竹内。チャンピオン候補の一人であることは間違いない

何度もチャンピオンが見えているほど実力十分だが、なかなかタイトルを獲得できず。今年こそは念願の頂点に立てるか!? 蒼姫ラビスとコラボした痛バイク仕様に注目だ



安原さや 選手

開幕戦で負傷し、第2戦は欠場している畑尾だが、その実力は十分。復帰の第3戦では4位と、後半戦チャンピオン争いから入ってくる一人だ



畑尾樹里 選手

モトクロスの見どころは?

会場ではレース以外のイベントも盛りだくさん用意されており、それも見どころの一つだ。ホンダやヤマハ、スズキ、カワサキ、KTMといったメーカーのブースでは車両の展示やライダーのサイン会が開催されている。また、B級グルメなどの飲食ブースや、モトクロスウェアなどを割引価格で販売しているショップもあり、観て・食べて・買って楽しめる。



併催のチャイルドクロスのバトルも熱い!!

CX (チャイルドクロス)

キッズといえど、闘志むき出しの熱いレースを展開するチャイルドクロス。50ccのモトクロスサーを駆り、転倒しても、泥だらけになってもゴールを目指すその姿には、声援を送らずにはいられない。将来、全日本や世界で活躍するモトクロスライダーを目指し、頑張れチャイルドライダー!!



参加してみよう!!



小学3年生以下で、2014年度有効なMFJモトクロスジュニア・PCライセンスを所有していれば誰でも参加可能なチャイルドクロス。モトクロスを楽しむ始めたばかりというキッズから、レースに出てみたいと思っているキッズまで、この機会に一緒に参加してみませんか!? 憧れのライダーたちが走るコースと同じ場所で、同年代のライバルと一緒にレースの楽しさを味わおう。出場に関する詳細はこちら<http://www.mfj.or.jp/>

TRIAL

トライアル

これまで11度のチャンピオンを獲得している黒山健一が試合をリードするという展開が多かったが、今年の試合をリードしているのは昨年の王者・小川友幸と野崎史高。小川は開幕戦、第2戦と連勝してランキングトップを走り、野崎は第3戦で6年ぶりに優勝を果たして勢いに乗る。とはいってもまだ残り4戦あり、ポイント差はわずかだ。黒山が後半戦調子を戻せば、例年以上に接戦が繰り広げられるだろう。小川自身初の連覇を成し遂げるのか、それとも黒山が逆転するのか、はたまた野崎が初のチャンピオンを獲得するのか!? 例年以上に目が離せないシーズンになりそうだ。

スーパークラス登録

トライアルでは限られたトップライダーのみしか参戦できないスーパークラス (IAS) を設けている。当然セクションの難易度も高く、ダイナミックなライディングテクニックを観戦することができるのだ!



小川友幸 選手



黒山健一 選手



野崎史高 選手



小川毅士 選手



田中善弘 選手



柴田 暁 選手



野本佳章 選手



加賀国光 選手



斎藤晶夫 選手



永久保恭平 選手



成田 亮(りょう) 選手

Rider: 小川友幸 選手

RANKING!

IAS スーパークラス 第3戦までの暫定順位			
1位	小川 友幸	(Honda)	57.0
2位	野崎 史高	(YAMAHA)	52.0
3位	黒山 健一	(YAMAHA)	45.0
4位	小川 毅士	(Beta)	41.0
5位	柴田 暁	(Honda)	32.0

トライアルとは?

トライアルは、ライディング技術の正確性を争うもの。コースの途中に複数設けられたセクション(採点区間)でいかに減点されることなく走り抜けられるかで勝負が決まり、セクション内で足を着いたり、マシンがバックなどすると減点対象となる。セクションにはオブザーバー(審判員)が配置されライダーがミスをしないかをチェックしている。また、セクション内はクラスごとに走る場所(難易度)が決められており、全日本では赤 (IAS/IA) と緑 (IB) のカードマーカーで示されている。トライアルにはゴルフというキャディのようにアシスタントと一緒にレースを戦うのも特徴の一つだ。

減点のサイン表示



減点1



減点2



減点3



減点5



オブザーバー

アシスタント

◎走る場所を示すカードマーカー

減点方式なのでオブザーバーはトライ中の選手が何点減点されたのかを手で示している。手の形がグーなら減点0 (クリーン)。人差し指が立つと減点1点。ピースサインなら減点2点。3本の指が立つと減点3点 (3回以上のミスでも減点3点)。セクション外に出たり、マシンが後退したなどは減点5点となります。1セクション最大減点数は5点。

IA クラス

若手VSベテラン 勝つのはどっちだ!?



Rider: 藤原慎也 選手

昨年はベテラン勢の勢いが目立ったが、今年はランキング上位に藤原慎也、佐藤優樹、徳丸貴幸、吉良祐哉などの20代の選手が入っており、若手ライダーたちが活躍している。藤原と佐藤は嬉しい初優勝を飾っており、そのまま順調に勢いに乗りたいところ。しかし、岡村将敏や開幕戦優勝した本多元治など、ベテラン勢たちの壁は厚くて高い。拮抗する若手とベテラン勢の戦いに注目だ!

RANKING!

IA クラス	第3戦までの暫定順位
1位 藤原 慎也 (OSSA)	44.0
2位 岡村 将敏 (GASGAS)	43.0
3位 佐藤 優樹 (Honda)	41.0
4位 徳丸 貴幸 (Beta)	32.0
5位 本多 元治 (Honda)	30.0



Rider: 久岡孝三 選手

IB クラス

久岡と氏川の 一騎打ち!!

IBは将来有望な若手の活躍に目を見張る。特に久岡孝二と、トライアル世界選手権にフル参戦している藤波貴久選手の甥・氏川湧雅は、IB1年目にしてトップ争いを繰り広げているほどの圧倒的な強さをみせ、すでにランキング3位以下を大きく引き離している。レースは何かがあるかわからないものだが、現状チャンピオン争いはこの2人に絞られるだろう。

RANKING!

IB クラス	第3戦までの暫定順位
1位 久岡 孝二 (GASGAS)	57.0
2位 氏川 湧雅 (GASGAS)	54.0
3位 生田目 俊之 (Honda)	29.0
4位 横尾 繁樹 (Beta)	26.0
5位 松本 龍二 (SCORPA)	24.0

見どころはココ!&観戦方法



◎開幕戦SSセッション



◎コースにはこのように10~15ヶ所のセッションがある

全日本ではここ数年、スーパークラスのみ最後にSS(スペシャルステージ)セッションと呼ばれるものが開催される。スペシャルというだけにコース設定は難易度がより高く、かつダイナミックで、ライダーと観客との一体感も一番感じられる場所! それゆえこのSSは見逃せないステージだ。また、トライアルはゴルフのようにセッションと呼ばれるコースを順番に走っていく。応援するライダーと一緒に移動しながらの観戦や、場所を陣取って観戦するなど、自分の好みに合わせて楽しめるのもトライアルの魅力の一つ。

FIM トライアル世界選手権 藤波貴久が開幕戦で優勝! 日本GPでは3位獲得!!



今年のトライアル世界選手権シリーズは、開幕戦オーストラリアグランプリDAY1でなんとフジガスこと藤波貴久が優勝!!そして第2戦目の日本グランプリ(4月26~27日/栃木県・ツインリンクもてぎで開催)のDAY1では3位表彰台獲得と好調さを見せた。日本グランプリは母国開催ということもあり、藤波選手の気合いはいつも以上に十分。会場にはたくさんのファンが応援に駆け付け、「フジガス」コールの大声援が送られていた。また、日本グランプリにはスポットで日本人ライダーたちも多数参戦。ノンストップルールの中、小川友幸がDAY2で6位に入るなど、強さをみせた。



Rider: 世界で活躍中の「フジガス」こと藤波貴久 選手

ROAD RACE

ロードレース

ロードレースとは？

二輪モータースポーツのなかで、もっともスピード感あふれるロードレース。元々は一般公道で競技が行われていたことからロードレースと呼称される。コースは直線や左右のコーナーを含んだ周回路で、コーナーなどではヒザやヒジが擦れるほどマシンを倒し込むなど、迫力満点。

全国各地のサーキットで全8戦開催される全日本選手権。開催クラスは、JSB1000、J-GP2、ST600、J-GP3の計4つ。6月中旬時点でまだ第3戦までしか終了しておらず、どのクラスも勝負の行方が見え始めるのはこれから。しかし、シリーズチャンピオンをかけて熾烈な争いが展開されるのは必須。そんな熱い戦いや、第5戦のツインリンクもてぎ、第6戦のオートポリスサーキットでは四輪レースとの併催といった、普段のレースとは一味違ったラウンドにも注目だ。



BS12で全日本ロードレース選手権を全国無料放送

BS12ではレース開催8日後に録画放送をしている。見逃したレースをその機会に観よう！

※毎週月曜日20時～

視聴
無料



大迫力のオンボードカメラ映像も！



全日本でもイベント盛りだくさん！

全日本ロードレース選手権の会場では、お昼休みなどにピットウォークが開催される。レースマシンを間近で見ることができたり、ライダー達と触れ合える

国内
最高峰

JSB1000

いよいよ高橋巧の反撃なるか!? JSB1000に参戦し始めて5年目。実力は十分なものの歯車がかみ合わず、思うような結果を残せていなかった高橋だが、今年は第2戦・3戦と優勝を飾り、勢いに乗る。一方、4度のチャンピオンを獲得している中須賀克行の強さも相変わらず。加えて今年は、津田拓也や渡辺一樹といった、20代のライダー達の活躍も目覚ましい。高橋が何度も手が届きそうながら、なかなかつかめなかった念願のタイトルを獲得するのか、はたまた中須賀や津田、渡辺が手中に収めるのか。混戦が予想されるだけに、一戦たりとも見逃せない。

RANKING!

JSB1000

第3戦までの暫定順位

1位	高橋 巧	(Honda)	72.0
2位	中須賀 克行	(YAMAHA)	69.0
3位	津田 拓也	(SUZUKI)	52.0
4位	渡辺 一樹	(Kawasaki)	51.0
5位	柳川 明	(Kawasaki)	50.0

ハイパワーマシンを操るライダーも日本を代表するライダー達。今年、勝利の女神にほほえまれるのは...?!

BS12の放送時にオンボードカメラを搭載している選手

JSB1000とは? ロードレースの国内最高峰になるJSB1000は、公道を走るCBR1000RやZX-10Rなど1000ccクラスの市販車をベースとしたマシンが使用される。とはいえ、マシンはレース仕様に変更され、約200ps(馬力)を発揮するほどのハイパワーだ。



中須賀克行 選手



秋吉耕佑 選手



津田拓也 選手



渡辺一樹 選手



野左根航汰 選手



今野由寛 選手



酒井大作 選手



加賀山就臣 選手



中富伸一 選手



柳川明 選手



山口辰也 選手



高橋巧 選手

1000ccマシンの真夏の戦い コカ・コーラ ゼロ 鈴鹿8時間耐久ロードレース選手権



7/24(木)
7/27(日)

今年の鈴鹿8耐は例年以上に話題豊富で、アツい戦いが繰り広げられること必須!! 創業60周年となる名門・ヨシムラは2台体制で臨み、1チームはなんと辻本聡選手/ケビン・シュワーツ選手/青木宣篤選手というレジェンドチーム。そして22年ぶりにカワサキのレースチーム・Team GREENも参戦決定! 柳川明選手/渡辺一樹選手/藤原昭昭選手の3人で表彰台の中央を狙う。もちろん中須賀克行選手など、全日本ロードレース選手権に参戦する現役トップライダー達も出場予定。決勝は7月27日、暑くて熱い夏がもうすぐやってくる!!

BS12で鈴鹿8耐を全国無料放送!



第1回大会から参戦し続けているヨシムラは今年創業60周年。ファンからの熱い要望もあり、レジェンドチームも参戦。2台体制で8耐に臨む

1992年以来、実に22年ぶりの参戦となるカワサキのTeam GREEN。ベテラン・柳川/藤原選手と8耐参戦2回目の渡辺選手がどんなケミストリーを見せるか期待したい



参戦チームやライダー、タイムスケジュールなど詳細は鈴鹿8耐のホームページでチェックできる!!

<http://www.suzukacircuit.jp/8tai/>

J-GP2とは?

排気量600ccのレース専用マシンで争われるJ-GP2は、MotoGPのMoto2クラスにも通じるカテゴリー。設立されてから5年目となり、マシンの熟成とともにレベルも上がっている



高橋裕紀 選手



J-GP2

10年ぶりに全日本ロードレース選手権に復帰した高橋裕紀が圧倒的な速さを見せているJ-GP2。調子を維持すれば後半戦も高橋を中心にレースが展開されることが予想される。しかし、GP-2は世界選手権Moto2に通じるクラスとあって、当然ながらライバル達は簡単に勝たせてくれるような相手ではない。高橋の勢いを止めるのは、昨年ランキング2位の生形秀之か、デチャ・クライサーか、それとも井筒仁康などのベテラン勢か、大いに注目したい。

RANKING!

J-GP2

第3戦までの暫定順位

1位	高橋 裕紀	(MORIWAKI)	50.0
2位	生形 秀之	(SUZUKI)	42.0
3位	デチャ・クライサー	(YAMAHA)	38.0
4位	井筒 仁康	(Kawasaki)	38.0
5位	浦本 修充	(Honda)	33.0

J-GP3

ヤングライダーたちの勢いが止まらないJ-GP3! 昨年のチャンピオン、山田誓己(20歳)やランキング3位の大久保光(21歳)はもちろん、今年からアジア・タレント・カップで開幕2連勝した中学生ライダー鳥羽海渡や高校生の水野涼など、将来を担うライダー達がトップ争いを繰り広げている。第3戦終了時点でランキングポイントは山田が頭一つ出ているが、誰が勝ってもおかしくない状況。最後に表彰台の真ん中で笑うのはいったい誰だ!?

RANKING!

J-GP3

第3戦までの暫定順位

1位	山田 誓己	(Honda)	69.0
2位	大久保 光	(Honda)	58.0
3位	水野 涼	(Honda)	58.0
4位	鳥羽 海渡	(Honda)	50.0
5位	岡田 義治	(Honda)	36.0



山田誓己 選手



J-GP3とは?

MotoGPのMoto3クラス直系となるクラス。250cc単気筒4ストロークのレース専用マシンを駆り、新車両レギュレーションの採用でマシン差がなくなり、昨年よりも白熱したレースが展開されている。将来を担う中高生の若手ライダーから熟練ライダーまで、幅広い世代が参戦している

FIM MotoGP 世界選手権第16戦 日本グランプリ



10/10 (金)
10/12 (日)

世界最高峰のレースを見逃すな!!

今年のMotoGP日本グランプリは昨年同様、チャンピオン争いが見え始めるシーズン終盤の第15戦に組み込まれ、10月12日に栃木県・ツインリンクもてぎで決勝が行われる。注目は第6戦が終了している時点で6戦連続勝利している昨年の王者、マルク・マルクスだろう。まるで海内無双のような状態の彼は、アグレッシブな走りに加え、その愛すべきキャラクターで多くのファンを魅了している。また、MotoGPクラスの青山博一、Moto2クラスでは長島哲太、岡田忠之監督率いるIDEMITSU Honda Team Asiaの中貴晶といった、日本人ライダーにも熱き声援を送りたい。



各種イベントも開催!!

会場ではキッズからモータースポーツファンが楽しめるものまで、たくさんのイベントも開催される。家族そろって1日楽しめるので日本グランプリはみんなでもてぎへ遊びに行こう!



ST600とは？

JSB1000同様、ST600もベースマシンは市販車。参戦マシンの排気量は、4気筒は401~600cc、2気筒は600~750ccまでで、タイヤ使用本数に制限がある

小林龍太 選手

ST600

3戦終了している時点で國川浩道、岡村光矩、小林龍太と、勝者はいずれも初優勝組。昨年のランキング上位の選手がクラスをスイッチし、顔ぶれにも変化がある今年のST600は、最後まで誰が勝つか分からないエキサイティングな戦いを繰り広げ、例年以上に拮抗した展開となっている。タイヤレギュレーションが変更になる前の最後のシーズン。その王者に輝くのは誰だ！？

RANKING!

ST600	第3戦までの暫定順位
1位 小林 龍太	(Honda) 61.0
2位 岡村 光矩	(Kawasaki) 56.0
3位 チャランボン・ポラマイ	(YAMAHA) 55.0
4位 横江 竜司	(YAMAHA) 46.0
5位 國川浩道	(Honda) 41.0

アジア ロードレース 選手権 (ARRC)

アジア各国を転戦して開催されるシリーズ戦・アジアロードレース選手権 (ARRC)。開催クラスは最高峰のSS600、CBR250Rのワンメイクで戦うアジアドリームカップ、ビジネスタイプのマシンを使用したアンダーボーン130の計3つ。全日本選手権ST600クラスとはほぼ同一のマシンレギュレーションで行われるSS600には、参戦する日本人ライダーも多い。なかでもこの選手権でチャンピオンを獲得している藤原克昭、元MotoGPライダーの玉田誠や小山知良、若手の伊藤勇樹たちはトップ争いを展開するだろう。日本ラウンドは8月17日に大分県・オートポリスサーキットと9月7日に三重県・鈴鹿サーキットで開催される。



アジアのレースも超白熱!!

8月17日オートポリス(大分県) / 9月7日鈴鹿サーキット(三重県)

海外でも “サムライ”達が活躍中!

FIMのCEV レブソル国際選手権 (Campeonato de España de Velocidad/旧スペイン選手権)や、若手育成のためのSell ADVACE アジア・タレント・カップなどでも日本人ライダー達が活躍中。CEVでは第2・3戦で尾野弘樹が3位表彰台を獲得。他にも藤井謙汰や國峰琢磨なども参戦している。また、アジア・タレント・カップでは計8人の10代日本人ライダーが選ばれ、切磋琢磨している。



動画で全日本ロードレースを 観戦しよう!



USTREAM

どこよりも早く生中継!

USTREAMを活用して、監視カメラ映像をライブで配信します。会場にいなくてもその場でレースが楽しめます

You Tube 「MFJSUPERBIKE」で検索!

<https://www.youtube.com/channel/UCNxIR1IEGrAznlFgfANkefQ>

 <http://www.superbike.jp/>

SUPER MOTARD

スーパーモタード

スーパーモタードとは？

アスファルト区間でのスライド(ドリフト)、ダート区間ではジャンプなど、ハテなバイクアクションが観戦できるスーパーモタード。その誕生のキッカケは、ロードレースやモトクロスなどで、どの種目のライダーが一番速いかを定めるため。それゆえ、使用するマシンはオフロード車両に小径オンロードタイヤを装着したモタード専用車で、コースもアスファルトとダートが混在しており、幅広いライディングテクニックが要求される。また、ロードレースで着用しているレーシングスーツに、モトクロスヘルメットというライダーの出で立ちも特徴だ。



全日本スーパーモタード選手権に格式変更してから2年目となる2014年シーズン。これまで同様、S1 PRO、S1 OPEN、S2の3クラス開催で、予選、決勝ともに日曜日に1DAYで行われる。会場は1~2kmのショートサーキットが多く、コースを見渡すことができるのも特徴。ちなみに最高峰のS1 PROクラスは決勝2ヒート制。また、予選から決勝まで使用できるタイヤは1セットで、それが勝敗を左右する重要な要素の一つだけに、各選手がどのようにコントロールしながら戦うのかも注目したい。

S1 PROクラス

世代交代なるか!? ベテラン・佐合に、 若手筆頭・金児が迫る

4月27日に愛知県的美浜サーキットで開幕した全日本。S1 PROクラスは昨年の覇者・佐合潔が相変わらずの安定した強さを見せているが、当然ながらライバル達が黙っているわけがない。開幕戦ヒート1・第2戦ヒート2では、アジア選手権などにも参戦した経験を持つ金児隆太が激しいバトルを制して優勝。また、三宮進、増田智義といったベテラン勢も第3戦以降、これまで以上にエンジンがかかってくるハズ。王者・佐合の連覇なるか、それとも新たなチャンピオンが生まれるのか!? 要注目だ!!



RANKING!

S1 PRO 第2戦までの暫定順位

1位	佐合 潔	74.0
2位	金児 隆太	57.0
3位	三宮 進	50.0

S1 OPEN 第2戦までの暫定順位

1位	金子 和之	40.0
2位	中村 竜規	34.0
3位	小倉 浩晴	28.0

S2 第2戦までの暫定順位

1位	城取 諒	28.0
2位	深見 浩資	24.0
3位	堀田 大人	24.0



佐合 潔 選手

金児隆太 選手

三宮 進 選手

若手にも注目!

強者のベテラン勢がしのぎを削っているモタードだが、若手も忘れてはならない。最高峰S1 PROクラスでは開幕戦で3位表彰台を獲得した21歳・赤嶺涼太、2013年S1 OPENクラスでランキング2位を獲得し、今年からS1 PROクラスに参戦している高校生ライダー・新井誠(開幕戦5位)、S2クラスでは1998年生まれの城取 諒がランキングトップにつけているなど、10代~20代前半の若手ライダー達がめきめきと頭角を現している。ベテラン勢を打ち負かす選手は誰なのか!? そんな粒そろいの若手達の活躍にも注目してほしい。

全日本では3クラス開催

S1 PRO	日本のトップライダーたちが集まる最高峰クラス。 2スト/175~250cc、4スト/290~450cc
S1 OPEN	2スト/175~250cc、4スト/290~450cc、460cc以上の 4ストマシンによるアンリミテッド(制限なし)
S2	2スト/100~125cc、4スト/175~250ccの 小排気量車が参戦。

他のカテゴリーのライダーも活躍

全日本スーパーモタード選手権では、ロードレースやモトクロスなど、他のカテゴリーでも活躍している選手がスポット参戦することも。特に注目なのは2013全日本ロードレース選手権J-GP2クラスチャンピオンの野左根航汰選手。幼少時からモタードレースに慣れ親しんでいた選手で、第2戦では4位入賞と実力十分。カテゴリーを超えての活躍にも期待したい。また第3戦以降、全日本モトクロス参戦中のライダーが出場する可能性もあり、異種格闘技としての本来のモタードも楽しめそうだ。



野左根航汰 選手

ENDURO

エンデューロ

エンデューロとは？

自然の地形を活かしたコースで、ライダーの速さ・技術・体力を競うのがエンデューロ。総走行距離は50km以上あり、途中には倒木や沢など、悪路を走破しなくてはならない場面も。全日本選手権ではIA、IB、N(ナショナル)、ウィメンズの4クラスがあり、FIM International Six Days Enduroと同じオンタイム方式を採用している。



2014年の全日本エンデューロ選手権は全4戦6ラウンド。まだ広島大会の1ラウンドを終了しただけなので、どのクラスも勝敗の行方はこれから。全日本選手権のタイトルを賭けたIA・IB・N・ウィメンズ以外にもコースやタイムの設定を易しくした参加型クラスB・Cも併催されるので、オンタイムエンデューロの魅力をぜひ体験してほしい。

IAクラス ベテラン 鈴木健二が好発進

まさに「全日本選手権レベル」とも言えるテージャスランチのハイレベルなコースに多くのライダーがこぞする中、開幕戦で先手を取ったのは、鈴木健二だった。2位/釘村忠、3位/太田真成。ディフェンディングチャンピオンの内山裕太郎は5位。しかし、まだ開幕戦1ラウンドを消化しただけの状況で、Rd②プラザ阪下(7/27)、Rd③④日高(9/20-21)、Rd⑤⑥SUGO(11/22-23)で、どのライダーにもチャンピオン獲得のチャンスは十分にある。



内山裕太郎 選手



鈴木健二 選手



釘村忠 選手



太田真成 選手

オンタイム方式とは？

全日本エンデューロ選手権などで採用されているオンタイム方式。これはライダーごとにスタート&ゴール時間、チェックポイント通過時間などが決められており、その時間に遅れるごとにペナルティが与えられていく(早すぎてもペナルティ)というルール。また、コース上にはスペシャルテストと言われる区間が設けられており、そこでは速さ(タイム)が競われ、その結果も成績に大きく影響する。“速さ”だけを競うルールではないこともあり中高年層のオフローダーの参加も多い。また、最近ではモトクロスやトライアル等、他の種目からの転向者も増えている。

どんなマシンを使用するの？

レギュレーションに合わせ仕様変更された市販車のオフロードマシンや、競技車のモトクロスサーが使用される。大会によってはコースに一般公道が含まれることもあり、その場合はナンバー付きのマシンで参戦する。市販車のオフロードマシンが使用できるなど、気軽に参加できるのもエンデューロの魅力の一つだ。



1周ごとにスタッフによりタイムがチェックされる



エンデューロに参加しよう！

全日本エンデューロ選手権というと、出場できるのは国際ライセンスを持ったトップライダー達だけと思うかもしれないが、アマチュアやビギナーが参加しやすい承認クラスも併催している。N(ナショナル)クラス以上はMFIエンデューロライセンスが必要になるが、承認クラスではMFIエンジョイライセンスがあれば参加できるので、マシンとウェアなどの装具を備えて、大自然のなかでエンデューロの楽しさを体験してみよう！



<http://jecpro.com/>

Rd1.広島大会リザルト.....

IA

1位 #3	鈴木 健二	(TEAM WR with YAMAHA)
2位 #5	釘村 忠	(Team TARGET)
3位 #2	太田 真成	(TEAM RABBIT with ACERBIS co)
4位 #10	渡會 修也	(K-ryz&デコボコフレンズ)
5位 #1	内山 裕太郎	(TEAM WR with YAMAHA)
6位 #9	小菅 浩司	(MCオープンエリア)

IB

1位 #83	熊本 悠太	(バイクズベア with CFC)
2位 #81	柳原 博一	(ダートバイクZIM)
3位 #77	小菅 泰輝	(MCオープンエリア)
4位 #75	谷先 慎一	(RT168)
5位 #64	重村 孝司	(チームシグマラトリブル☆コージ)
6位 #84	熊本 順次	(バイクズベア)

SNOW MOBILE

スノーモビル

スノーモビルとは？

ジャンプ台やコーナーを設置した、雪上の周回コースで行われるスピード競技。モンスターマシンがハイスピードで接戦するスノーモビルは、雪上の格闘技と表現されるほど迫力満点。大空高く舞うジャンプも必見だ！

最高峰スーパークラスは 佐々木雅規選手が 初のチャンピオン獲得!!

全日本の中で真っ先に開幕するスノーモビルは、毎年1～3月にかけて行われる。すでに全戦が終了して全クラスチャンピオンも確定。最高峰となるIAスーパークラスは、最終戦前まで昨年の覇者・佐野友介選手がランキングトップを走り、全日本スノーモビル選手権で新記録となるV4達成か!?と思われたが勝利の女神は微笑まず…。最終戦のヒート1で転倒し、リタイヤとなってしまった。その結果がポイントに響き、ランキング2位へと後退した。2014年のチャンピオンに輝いたのは、ランキング2位に付けていた、全日本モトクロスライダーでもあるベテラン・佐々木雅規選手！また、スーパークラスは10代の若手ライダー達も参戦し活躍してきている。彼らの今後の活躍にも注目したい。



Rider: 佐々木雅規選手



滞空時間の長い大迫力のジャンプは圧巻!!

RANKING!

IAスーパークラス

1位 佐々木 雅規
2位 佐野 友介
3位 関 隼人

A級-S1/S2

1位 佐藤 伶磨

B級-S3

1位 笹岡 千夏

B級-S1/S2

1位 信平 竜馬

ジュニア

1位 倉持 晃人

クラス名称	2ストローク	4ストローク	ゼッケンカラー
ジュニアクラス	600cc以下	1,050cc以下	SJ クラス 黒地に白文字
S3クラス	500cc以下	1,000cc以下	SA クラス A級 青地に白文字
S2クラス	600cc以下	1,050cc以下	SB クラス B級 白地に黒文字
S1クラス	オープン	オープン	
IASクラス	600cc以下	1,050cc以下	IAS クラス 赤地に白文字

IAS
クラス

スノーモビル選手権で最高峰となるクラスで、出場できる選手は選ばれし者だけ。コースもIAS専用の大迫力なジャンプスポット満載のエキサイティングなコースが使用される！

スノーモビルマシン



スノーモビルマシンはエンジンを動力に、リヤ側に備えたトラックベルト(キャタピラ)の駆動によって推進力を得て、フロントにあるスキーによって操舵する。ちなみにスノーモビルは、英語のsnowとautomobileを組み合わせた造語。



モータースポーツの楽しさを体験してみませんか!?



MFJ トライアルアカデミー

●会場：茨城県・真壁トライアルランド (12月21日のみ栃木県・ツインリンクもてぎ)



年間参加者には、アライヘルメットより
Arai Hyper-T Proを贈呈!

定員20名
※定員になり次第
締め切りとさせていただきます



9月から始まるMFJトライアルアカデミーは、今年も競技経験問わず若手や女性、シニア、ビギナーを対象にした「アカデミー1」、大会で上位を目指すNB～IBのライダーを対象とした「アカデミー2」の2クラスを開校します。また、これまでは年間を通してのアカデミーとなりましたが、スポットでの申込みも可能になり、より参加がしやすくなっています! ライディングテクニックはもちろん、競技に必要なルールとマナー、フィジカルトレーニングやマシンのメンテナンスなどを仲間とともに学べるトライアルアカデミー。あなたも一緒にトライアルを楽しみませんか!?

【参加費】●年間：113,100円、スポット/日：13,300円

※年間参加者が定員(20名)に達した場合、スポットの参加はできません。予めご了承ください

【クラス】

●アカデミー1：若手・女性・シニア・ビギナー育成のためのプログラム
トライアル入門者～NB中級まで対象

●アカデミー2：NB上級～IB初級レベルのライダーを対象としたプログラム

※参加には2015年3月31日まで有効のMFJライセンスが必要で
ジュニア 9,850円、NB(国内B級) 以上 11,850円

※トライアル車両、ウェア、ブーツ、グローブ、プロテクター、スペアパーツ類は各自準備願います

※アカデミー1に関してはレンタルバイクをご利用頂けます。数に限りがありますので詳細はお問い合わせください

※持ち込み車両の排気量制限はありません。ただし、車両はトライアル車に限定いたします



成田 匠 校長



野本 佳章 インストラクター

校長には全日本はもちろん、世界で活躍してきた成田 匠さん、インストラクターには全日本トライアル選手権の最高峰・IASに参戦中の野本佳章選手を迎えます。楽しく、丁寧に、わかりやすく指導してくれます

2014日程

第1回-9/20(土)・21(日)

第2回-10/18(土)・19(日)

第3回-11/15(土)・16(日)

第4回-12/21(日)

※ツインリンクもてぎ開催!

第5回-2015.1/17(土)・18(日)

第6回-2015.2/1(日)

トライアルアカデミー卒業生Voice

倉持 俊輝 選手

(全日本トライアル選手権/全日本スノーモビル選手権参戦中)

Profile

1～2期生。現在は全日本トライアル選手権IAクラスおよび全日本スノーモビル選手権の最高峰スーパークラスに参戦中。トライアルでは2013年IBクラスで、スノーモビルでは2012年B級S3でチャンピオンを獲得している。1996年生まれ



2013年
全日本TR国際B級
チャンピオン!

元々モトクロスとスノーモビルをやっていて、基本のバランスを身に付けるためにはトライアルがいいだろうと思ったのが始めたキッカケです。東京モーターサイクルショーなどでトライアルアカデミーの存在を知って入学したのですが、やればやるほどトライアルが楽しく、トライアルとスノーモビルに集中するようになりました。それまでトライアルの経験はなかったので、最初は何もできなくてイヤになってしまうこともありましたが、校長はじめ、インストラクターの方達が優しく楽しく教えてくれたので続けることができました。それに自分でも上達しているのがわかったので楽しかったです。その時に学んだことが今のトライアルにも役立っているの、参加して大変良かったです。

佐藤 和人 選手

(全日本トライアル選手権参戦中)

Profile

1～2期生。小学校5年生からトライアルを始め、中学3年生のときにIBに昇格。現在は強豪ひしめく全日本トライアル選手権IBクラスに参戦している。1995年生まれ



父と一緒に参加した親子バイクスクールで、全日本国際A級トップライダーがデモンストレーションをしてくれたのがキッカケでトライアルに興味を持ちました。それでインターネットなどでトライアルスクール等を探していたらトライアルアカデミーの存在を知り、入学を決めました。トライアルの技術が学べたのはもちろん、何よりかけがいのない仲間と出会えたことが良かったです。今でもアカデミーの仲間はほとんどがトライアルをやっているので交流がありますし、励みとなる存在です。IBに昇格してから5年目を迎えるので、そろそろIAに昇格しないといけないのですが、将来的には最高峰のIASクラスで活躍できる選手になりたいと思っています。

観戦するだけではなく、モーターサイクリススポーツの楽しさを体験していただく、また次世代を担うライダーを育成するために、MFJでは様々な普及活動をしています。ここでは代表的な3つのものを紹介いたします。皆様のご参加をお待ちしています!



MFJ レディースロードレース Queen & Princess Trophy

●会場: 栃木県・ツインリンクもてぎ



2014年は戦いの場を筑波サーキットからツインリンクもてぎに移したレディースロードレース。同時に、レースをより楽しんでもらうために使用車両や年齢に応じたクラス分けがされました。しかし、これまでの通り、女性ライダーのみなさんにレースの楽しさを体験していただきたいというコンセプトに変わりはなく、事前にサーキットでの走り方やルールを学ぶ講習会も行われます。そのためビギナーでも安心して参加できます。2014年は残り1戦ですが、サーキット体験してみたいと思っているのなら、今年こそチャレンジしてみたいはいかがでしょうか?!

【インストラクター】 五百部徳雄 / 坂田和人 / 井形とも

【エントリー料】

TRMC(もてぎ)会員.....15,000円

TRMC(もてぎ)非会員...19,000円

【講習会受講料】 5,400円(レース参加者)

※TRMC非会員の方は、レース・講習会参加時に

それぞれもてぎ共済会費が別途かかります。

※レンタル車両あり(限定5台/有料)

※まずは講習会だけでも参加してみたい方はMFJまでお問い合わせください。

2014日程(第3戦)

●レース

11/9(日)

●講習会

11/3(月祝)

参加者Voice

橋本 翼 選手

Profile

1999年生まれの15歳。2013年はCBR150Rでレディースロードレースに参加。同年のチャンピオンに輝いている。今年はCBR250Rを乗り、プリンセスクラスに参戦。リベルトレーシングプラスワン所属



2012年のときに、レディースロードレースで日本人選手と外国人選手がバトルをしていて、それがあまりにもカッコよく「自分も海外の選手とバトルしたい!」と思いました。ちょうど150ccのバイクを友人から譲ってもらったこともあって、2013年からレディースロードレースに参加するようになったんです。レディースロードレースには、同年代の人から自分の両親と同じぐらいの世代まで、幅広い年齢層の方たちがいます。でも、レースという共通のものがあるのでトークが弾み、仲間がたくさんできるのが嬉しいです。レース自体もいろいろな人と戦えるのは楽しいし、最後に行われるジャンケン大会はみんないつも楽しみにしているほど盛り上がるんです。それと参加賞でもらう“鯉節”がとにかくおいしい!!(笑) 今年は全戦出られるかわからないですが、参加するのならやっぱりチャンピオンを獲りたいです!





1 dayアカデミー(スキルアッププログラム)募集中!

1 dayアカデミーでは毎回、世界選手権や全日本で活躍しているライダーを講師に迎え、スキルアップを目指すライダーを対象に個人レベルに合わせたアドバイスを行っています。耐久レースや選手権前にライディングチェックをして楽しみながらチョット上を目指しましょう♪

【インストラクター】高田速人／亀谷長純／小室旭／宇井陽一／武田雄一／大久保光／小山知良

※インストラクターは諸事情により変更の場合もございます。

【対象】年齢・性別問わず(持込み車両250ccまでが対象)

【参加費】1日コース：17,400円 2日コース：29,800円(昼食代込み)

※2日コース 宿泊は含まれません

【レンタル車両】1日/8,200円 ※レンタル車両の転倒修理費用は別途請求させていただきます。

【要共済会費】当該年度、MFJライセンス・もてぎライセンス取得者以外は別途共済会費が必要となります。

【募集締め切り】スクール1週間前まで

年間アカデミー(若手育成プログラム)

年間アカデミーでは元世界チャンピオンの坂田和人氏をチーフインストラクターに起用し、次世代を担うライダーの育成をしています。2015年度の年間RDアカデミー生募集は、年末にMFJホームページにて掲載いたします。世界を目指すライダー! 要チェックですよ♪

【インストラクター】校長：五百部徳雄／チーフインストラクター：坂田和人

【対象】12～18歳のMFJライセンス・もてぎライセンス取得者

【参加費】レンタル車両：185,100円 持込み車両：133,700円(ライセンス料別)

【募集】毎年 年末～2月頃まで募集予定



五百部 徳雄 校長



坂田 和人 チーフインストラクター

年間クラスと1DAYでは講師が異なりますが、いずれの方々も世界選手権や全日本で活躍しているライダー達ばかりです



2014日程

第5回	7/27(日)	第8回	8/17(日)
第6回	7/28(月)	第9回	9/13(土)
第7回	8/16(土)	第10回	9/23(火祝)

お問い合わせ☎MFJ RDアカデミー担当 Tel 03-5565-0900/ライディングハート Tel 0280-23-2756



随時更新!!

情報
盛りだくさん

参加お申込み方法は...



MFJ

03-5565-0900



MFJオンライン

www.mfj.or.jp

Schedule & Circuit

後半戦スケジュール&サーキットマップ

全日本ロードレース選手権

MFJ ROAD RACE

《2014年日程》

- 第4戦 6/28(土)~29(日) 宮城県・スポーツランドSUGO
- 第5戦 8/23(土)~24(日) 栃木県・ツインリンクもてぎ
- 第6戦 9/13(土)~14(日) 大分県・オートポリスサーキット
- 第7戦 9/27(土)~28(日) 岡山県・岡山国際サーキット
- 第8戦 11/1(土)~2(日) 三重県・鈴鹿サーキット

◎2&4レース!



**SUPER
FORMULA**

国内最高峰4輪フォーミュラカーレースの『スーパーフォーミュラ(SF)』と同時開催! SFは今年からエンジン&シャシーが新しく生まれ変わり、さらなるハイスピードバトルが繰り広げられます! 2輪と4輪の国内トップカテゴリーが同時に楽しめるイベントとして人気を集めています。

■岡山国際サーキット **R**

岡山県美作市滝宮1210

TEL : 0868-74-3311

<http://www.okayama-international-circuit.jp/>

全日本モトクロス選手権

MFJ MOTOCROSS

《2014年日程》

- 第5戦 7/19(土)~20(日) 岩手県・藤沢スポーツランド
- 第6戦 8/2(土)~3(日) 宮城県・スポーツランドSUGO
- 第7戦 9/13(土)~14(日) 奈良県・名阪スポーツランド
- 第8戦 10/4(土)~5(日) 広島県・グリーンパーク弘楽園
- 第9戦 10/25(土)~26(日) 宮城県・スポーツランドSUGO

■グリーンパーク弘楽園 **M**

広島県世羅郡世羅町黒淵728

TEL : 0847-27-1755

<http://sera-korakuen.com/>

全日本トライアル選手権

MFJ TRIAL

《2014年日程》

- 第4戦 7/20(日) 北海道・わっさむサーキット
- 第5戦 9/7(日) 岡山県・原瀧山トライアルパーク
- 第6戦 10/12(日) 愛知県・キョウセイドライバード
- 第7戦 10/26(日) 宮城県・スポーツランドSUGO

■TSタカタサーキット **S**

広島県安芸高田市高宮町原田1378-2

TEL : 0826-59-0055

<http://www.ts-takata.com/>

■オートポリスサーキット **R**

大分県日田市上津江町上野田1112-8

TEL : 0973-55-1111

<http://www.autopolis.jp/>

全日本スーパーモタード選手権

MFJ SUPERMOTARD

《2014年日程》

- 第4戦 7/13(日) 広島県・TSタカタサーキット
- 第5戦 8/24(日) 宮城県・スポーツランドSUGO
- 第6戦 9/21(日) 熊本県・HSR九州
- 第7戦 10/19(日) 奈良県・名阪スポーツランド
- 第8戦 11/16(日) 千葉県・茂原ツインサーキット

■HSR九州 **S**

熊本県菊池郡

大津町平川1500

TEL : 096-293-1370

<http://www.hsr.jp/>

全日本エンデューロ選手権

MFJ ENDURO

《2014年日程》

- 第2戦 7/27(日) 大阪府・プラザ阪下
- 第3戦 9/20(土)~21(日) 北海道日高町
- 第4戦 11/22(土)~23(日/祝) 宮城県・スポーツランドSUGO

■原瀧山トライアルパーク **T**

岡山県高梁市川上町

<http://www.jmps.or.jp/block/chugoku/12.html>

Map 2014

■わっさむサーキット T

北海道 上川郡 和寒町 三笠

<http://www.jmpsa.or.jp/block/hokkaido/>

(MFJ北海道)

■藤沢スポーツランド M

岩手県 一関市 藤沢町 新沼西風40

TEL : 0191-63-3333

<http://www1.ocn.ne.jp/~fujimx/>

■プラザ阪下 E

大阪府 河内長野市 末広町4-1

TEL : 0721-63-0925

<http://www.plazasakashita.com/>

■日高町 E

北海道 沙流郡 日高町 豊岡

<http://www.jmpsa.or.jp/block/hokkaido/>

(MFJ北海道)

■スポーツランドSUGO

宮城県 柴田郡 村田町 菅生6-1

TEL : 0224-83-3111

<http://www.sportsland-sugo.co.jp/>

R M T S E

■ツインリンクもてぎ R

栃木県 芳賀郡 茂木町 桧山120-1

TEL : 0285-64-0001

<http://www.twinring.jp/>

■茂原ツインサーキット S

千葉県 茂原市 台田640

TEL : 0475-25-4433

<http://www.mobara-tc.com/>

■キョウセイドライバーランド T

愛知県 岡崎市 須淵町 字木ノ田38

TEL : 0564-47-2291

<http://www.kotsu-daigaku.jp/>

■鈴鹿サーキット R

三重県 鈴鹿市 稲生町7992

TEL : 059-378-1111

<http://www.suzukacircuit.jp/>

■名阪スポーツランド M S

奈良県 山辺郡 山添村 切幡1343-1

TEL : 0743-87-0007

<http://www7.ocn.ne.jp/~meihansl/index.htm>

◎アイコンの見方

R ロードレース M モトクロス T トライアル

S スーパーモタード E エンデューロ